

文書名	平成 27 年度 DAN 運営委員会 議事録		
開催日	平成 28 年 3 月 18 日 (金)	開催場所	東京
時間	15 : 00 ~ 17 : 30	進行/記録	事務局 小島
出席者	<p>【委員】鈴木委員長、柳下委員、麻生委員、芝山委員、小島委員、吉田委員、 宮下委員、中野委員、栗山委員、才木委員、岸部委員</p> <p>【代理出席】後藤(勝)委員(事務局 小夫家様)、渡辺委員(営業第三課 岡野様)</p> <p>【海上保安庁】栗津救難課長</p> <p>【協会関係者】加賀谷(常務理事兼安全事業部長)、小松安全事業参与、 安全事業部/平川・小島、ビッグバン磯辺</p>		

① 平成 27 年度 DAN JAPAN 事業報告、IDAN の動向についての報告が事務局より行われた。

◆DAN が成長するための方策について検討が行われた。

- ・全体から見れば事故者は僅かである。会報誌による情報提供等、会員のメリットを厚くする必要がある。ダイビングの安全を含む多様な情報(英文記事の翻訳を含む)を提供すべき。
- ・ダイバーが DAN に何を求めているか分析が必要である。
- ・更新の手続きが判りにくい。簡単に更新できるシステムを構築すべきである。
- ・在席年数の多い会員向けの特典も考えるべきではないか。
- ・事務局として、様々な意見について前向きに検討することを約束した。

◆ホットライン、DDNET の運営について検討が行われた。

【ホットライン事業】

- ・公益性があり、DAN の重要な活動である。会員・非会員問わず緊急案件に対応するということを明示することは、DAN JAPAN が公益性を求められる事業に対する基本姿勢を示すことになり、ダイバーからの信頼を得ることになる。
- ・受付対応者のレベルの向上(ナースの育成、参画を含む)は必須であり、教育システムの構築が必要である。
- ・LINE 等の新たな情報共有方法構築の提案があったが、慎重意見もあり継続審査となった。
- ・特に重症例では地域の医療機関との連携が重要であり、引き続き海上保安庁との連携も含めて関係構築に努めることとなった。

【DD NET 事業】

- ・事務局より現在、年 1 回のアンケート調査で DDNET リストの精査をしているとの報告があった。
- ・「活動している医師が掲載されている信頼性のあるリスト」にする努力が必要である。
- ・DD NET 医師間の情報共有(メーリングリスト作成)や IDAN の教育プログラム導入が望ましい。
- ・社会的な使命もあり DDNET を価値の高いネットワークにする必要がある。専門性を持った人材の教育が大切である。

② H28 年度 DAN JAPAN 事業計画と決算についての報告が事務局より行われた。

③ 事務局より活性化等検討委員会及び運営委員会提言事項の進捗状況の報告、及び今後の実施予定について説明が行われた。

(1) 再圧治療費補助について :

減圧障害の早期治療は重要で、予後に大きく影響を及ぼすため、非常に価値の高い制度であり今後も継続が妥当である。

(2) 潜水医学の知識を持つ医療関係者の養成について：

- ・ IDAN のウェブでの潜水医学教育プログラム (EDM) の導入について
 - 日本語化が問題との説明が事務局からあったが、すぐに英語で開始してはどうだろうか。ウェブでの教育プログラムであれば繰り返し視聴することもできる。早期実現に向けた着実な前進を希望する。
 - 極めて重要と考えるので、検討ではなく是非実施をして欲しい。

(3) その他、活性化に関する意見など：

- ・ 潜水士は年 2 回の法定健康診断が必要である。DAN 会員は DDNET 医師に有料で受診できる、という特典が良いのではないかと。
- ・ DDNET リストに健康診断実施可否の記載を検討しても良いのではないかと。

④ 運営委員による検討案件について

◆事務局より 3 つの案件が検討議題として提示され、意見交換が行われた。

- (1) 運営員会の開催時期について、そこでの意見を活動に着実に反映するために来年度は 10 月～12 月へ開催時期を移動することとなった。
- (2) 運営員会議事録開示について、ホームページでの開示を検討した。
より公益性と透明性を高めることを目的として、議事録概要のホームページ掲示が合意された。
- (3) 「医療用酸素の使用に係る Q&A」についての意見交換が行われた。
 - ・ DAN では、酸素使用について各方面の意見と協力を得ながら「酸素供給法コース」を構築しており、大気圧下での酸素使用は問題がないと考える。
 - ・ DAN が率先して正しい知識と経験を提供することが非常に重要である。また、HP や会報誌で加圧下での酸素投与は非常に危険であるという情報の提供をする必要がある。